名葦

諸富中学校だより 第 10号

2019/11/13 文責:南里



「 創り、つなぐ 」 ~ 夢・絆・伝統

今しかない中学生という時期

季節はあっという間に秋から冬へ。生徒たちは、季節の流れの中で確実に勉強、スポーツ、芸術、学校生活…多方面で頑張っています。(詳しくは裏面で紹介)3年生は受験に向けてかなりの人がスイッチを入れています。2年生は部活動の中心になって、日々の練習と試合で実力を発揮できるよう頑張っています。また、生徒会長選に向けて選挙運動をする2年生に、今までにはないたくましさとやる気を感じています。1年生もいつの間にかすっかり中学生。「やるべきことをきちんとやる」姿勢ができています。現3年生は、2年生の時に学年目標「凡事徹底(あたり前のことを当たり前にやる)」を実践し、今は3年学年目標「夢実現」に向け、あたり前より一歩進んで自分で先を考えて行動することができています。この主体性こそが、人生を切り拓く大きなパワーとなります。3年生をはじめ、後期で全校生徒がどんな成長をみせてくれるのか楽しみです。

ところで、間もなく3年生は三者面談。この時期になると思い出すのは、ある生徒と保護者さんのこと。その生徒は三者面談で自分の夢を実現するために、佐賀から遠く離れた県外の高校へ進学したいと言い出します。親は反対。その後何度か話し合いを繰り返し、最終的には本人の希望を尊重し県外へ進学することになりました。そんな中、年明けの1月、その保護者さんが書類を持って学校へ来られ「まさか、こんなに早く娘と一緒に暮らせなくなるとは思っていなかった。まだ中学生、まだ子どもだと思っていたら、あと3ヵ月もない。高校卒業後、おそらく県外の大学、就職となるだろう。もっとこれまでの日々を大切にしておけばよかった。」と、涙ぐまれました。

生意気盛り、反抗期真っ盛りの中学生かも知れません。しかしこの難しい時期にどのように関わり、ぶつかり合いながらも親として、子として互いに成長できるのか・・・今日という日は二度と戻ってきません。これは教師にも言えることで、子供たちによって教師は鍛えられ、成長させてもらっている一面があります。そして関わることができるのは「期限付き」です。親も、子も、家族も、教師も、互いの関わり合いの中で、今できることを全力で、心を込めて愛おしみながら、やっていくことが大切だと思います。



ず多くの方にお越しいただきありがとうございました。保護者さんだけでなく地域の方もたくさん来ていただき、のベ170人あまりの参観がありました。生徒たちもうれしそうでした。恥ずかしいと思いながらも、家族や地域の方々の応援は嬉しいものなんだと生徒たちの表情でわかりました。







● 佐賀市新人戦

団 体 第2位 女子ソフトテニス部 第2位 男子柔道部 第3位 女子バレーボール部

女子柔道 第1位 原約 土井紗

● **佐賀県中学生新人柔道大会** 男子団体 第3位

個人戦 第3位 山中さん 古賀さん 村岡さん 井口さん 土井さん 原さん

● 青少年読書感想文

特選 3年 安永 高橋 高橋入選 3年 宮原 品2年 野中 品野田 品2年 野中 品1年 行武 品 岸川 品

● 佐賀市 七夕席書会

入選 3年 古賀 か 田中 か

2年 野中 が 大塚 が 北川 が 山口 が

1年 山﨑 か 水町 が

硬筆の部 特選 3年 岡祉 小野説

1年 行武 真島

入選 2年 野中払 中島払 藤田払

● 佐賀県 七夕席書会

毛筆の部 特選 3年 龍級 入選 3年 太田級 硬筆の部 入選 3年 小野級

- JA共済小中学生書道コンクール 半紙の部 銀賞 龍級
- ▼ーチングバンド全国大会九州予選 中学生の部 金賞 音楽部

※音楽部は12月14日(土)さいたまアリーナで開かれる全国大会に出場します。 ● 近隣の方には大きな音等でご迷惑をお掛けしますが、

ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。